

第34回 母乳育児シンポジウム

会場：大阪市中央公会堂大集会室

2026

ハイブリット開催 (大阪市中之島)



© 大阪市中央公会堂

8/29^土・30^日

もう一度考えよう、 母と子と社会のために



8月29日(土) 9:45~17:50

特別講演 1

「歴史から考える母乳育児 —乳と捨てる子の近代—

講師／沢山 美果子 岡山大学 文明動態学研究所

シンポジウム 1

「多様性の社会のなかで母乳育児を広げるために」

- 産婦人科医がうまく母乳育児に関われるためのステップ
- 母と子にやさしくするために～小児科医の立場から
- 母乳にこだわらなくなった母親の意識の変化にどう対応するか
- 母乳育児の長期的影響—疫学研究からみた母体骨密度との関係
- BFH施設で様々な逆風のなか続ける母乳育児支援活動

報告 1 安心して母子同床・同室を行うために

林 時仲(小) 日本母乳の会母子同床・同室検討委員会 北海道療育園

報告 2 日本における「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」年間データ発表
／日本母乳の会データ管理委員会

乳頭ケア実践研修 (同時開催 別途申込者のみ)

佐藤 文彦(産) 横山病院
有道 順子(助) サンクリニック
関西地区ファシリテーター

8月30日(日) 9:30~16:30

特別講演 2

「母乳の免疫を支える腸内細菌叢」

講師／野地 智法 東北大学大学院農学研究科

シンポジウム 2 「母乳育児—現場で何をすべきか」

〈基調〉多様化する時代の母乳育児支援—助産師に求められる役割と実践

- 産科混合病棟における母乳育児支援の現状・取り組み
- お産を継続させるための混合病棟の取り組み
- 病院として取り組むBFHの意義—院長の立場から
- BFHを目指す取り組みの実際
—母親を取り巻く環境と意識の変化にどう対応するか

特別企画 スマホで参加!

インタラクティブディスカッション

「母乳育児のこの情報、ホント?」

SNS等で得られる母乳育児に関する情報についてみなさんと考えましょう。会場の皆さんのモバイル端末で投票をしていただき、リアルタイムで表示された結果をもとに討論します。そしてその情報が事実なのか、噂なのか、皆さんと検証します。

報告 3 関西自治体母乳育児支援状況アンケート報告



主催：一般社団法人日本母乳の会

後援：UNICEF東京事務所 こども家庭庁 日本産科婦人科学会 日本小児科学会 日本小児科医会 日本新生児育成医学会 日本周産期・新生児医学会

日本助産師会 日本看護協会 大阪産婦人科医会 大阪小児科医会 大阪府看護協会 大阪府助産師会 NMCS(新生児診療相互援助システム)

(申請中も含む)

<運営(事務)局>

■実行委員長：白石 淳(小・国立循環器病研究センター)

■副実行委員長：大谷ゆかり(助・舞鶴こども療育センター) 森沢 猛(小・加古川中央病院)

一般社団法人日本母乳の会

〒165-0026 東京都中野区新井 3-9-4 TEL. 03-5318-7383 FAX. 03-5318-7384

【E-mail】 sympo@jbabf.or.jp 【HP】 https://jbabf.smoozy.atlas.jp/ja

参加費

- 会員／10,000円+税 ■未会員／12,000円+税
- 学生・一般(有資格者は除く)／3,000円+税
- 乳頭ケア実践研修／2,000円+税

申し込み方法

右記2次元コードよりチケット専用サイトpeatixにアクセスし、チケットをお求めください。または、日本母乳の会ホームページから申込用紙をダウンロードし、メールまたはFAXでお申し込みください。

peatix
34thシンポジウム
専用2次元コード



日本専門医機構(領域講習)小児科医、産婦人科医各1単位、学術集会参加5点、日本産婦人科医会研修参加証(シール)申請中
日本助産評価機構のアドバンス助産師更新「選択研修」・日本助産師会産後ケア実務助産師研修に該当